

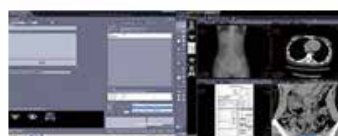
<p>特殊医療機器</p>	<p>320 列面検出器 CT、1.5 テスラ MRI、三次元画像作製装置（ワークステーション 5 台）、PACS レポートシステム、その他、CR・DR・心臓カテーテル検査など。  CT・MRI はベッドに横になっているだけで短時間で終了する検査であり、患者さまの肉体的負担はほとんどありません。320列CTは全国でも数少ない高機能CTです。脳・心臓・肺など。従来のCTでは撮影できなかった検査が行えます。また、被曝低減撮影が可能であり、胸部 CT でおよそ 1.2mSv の撮影が可能になっています。現在、医療センターにおけるすべての CT 検査が 320 列 CT で行われています。  2013 年 5 月より、新しい血管撮影装置が稼働しています。フラットパネル検出器を用い、低被曝で精密な画像が得られます。</p>																		
<p>専門外来</p>	<p>大原総合病院・画像診断センターでは検査終了後直ちに 3 次元画像解析装置を用いて検査結果の説明をさせていただきます。何でもお気軽にご相談ください。</p> <table border="1" data-bbox="296 562 1490 1583"> <tr> <td data-bbox="296 562 571 663"> <p>検診要精検に対する二次検査</p> </td> <td data-bbox="571 562 1490 663"> <p>集団検診や人間ドック等で異常を指摘された場合の精密検査を行っております。指摘された内容に応じて最善の方法を選択させていただきますので遠慮なくご相談ください。</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="296 663 571 826"> <p>肺 CT</p> </td> <td data-bbox="571 663 1490 826"> <p>320 列 CT は数 mm 大の肺癌を検出できます。胸部単純写真で指摘が困難な不鮮明な陰影でも明瞭に描出できます。単純写真で精密検査を指示された場合、CT 検査をお受けください。肺 CT は 1 回の呼吸停止で肺全体を撮影できますので、撮影に対する負担はほとんどありません。必要最低限の被曝低減撮影を行っています。</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="296 826 571 960"> <p>脳 MRI</p> </td> <td data-bbox="571 826 1490 960"> <p>梗塞や萎縮・出血・血管の異常などが診断できます。認知症が社会的に問題となっていますので、ぜひ、ご自分やご家族の健康状態を確認されることで、安心して仕事や家庭生活・社会生活を続けていただければと思います。</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="296 960 571 1032"> <p>簡易ドック</p> </td> <td data-bbox="571 960 1490 1032"> <p>CT・MRI を用いた肺ドックと脳ドックを行っています。</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="296 1032 571 1196"> <p>心臓 CT</p> </td> <td data-bbox="571 1032 1490 1196"> <p>320 列 CT は 0.35 秒の高速スキャンにより心臓を制止させた画像が撮影できます。短時間の呼吸停止を行っていただくだけで撮影は終了しますので患者さまの負担はほとんどありません。冠動脈狭窄の有無を判定する上で非常に簡便な検査です。循環器内科と協力の上で最適な撮影方法を選択しております。</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="296 1196 571 1301"> <p>3 次元画像解析・コンピュータ診断</p> </td> <td data-bbox="571 1196 1490 1301"> <p>心臓 CT や血管形状などを立体的に表示できます。アルツハイマー型認知小・COPD・肺癌のコンピュータ支援診断など行っています。</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="296 1301 571 1373"> <p>遠隔画像診断</p> </td> <td data-bbox="571 1301 1490 1373"> <p>全国の 150 名の専門医と光回線を用いたネットワークでつながっています。必要に応じ複数の専門医の意見を聞いています。</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="296 1373 571 1478"> <p>画像診断データの保管</p> </td> <td data-bbox="571 1373 1490 1478"> <p>画像診断センターでは本院および医療センターにて撮影した CT・MRI などの画像を電子的に保管していますので画像の比較が必要な場合、過去のデータと比較することができます。</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="296 1478 571 1583"> <p>低被曝 CT</p> </td> <td data-bbox="571 1478 1490 1583"> <p>2011 年 9 月から低線量による CT 撮影ができるようになりました。胸部 CT でおおよそ 1.2mSv の線量で撮影できます。最新の画像処理技術で可能になった新機能です。</p> </td> </tr> </table>	<p>検診要精検に対する二次検査</p>	<p>集団検診や人間ドック等で異常を指摘された場合の精密検査を行っております。指摘された内容に応じて最善の方法を選択させていただきますので遠慮なくご相談ください。</p>	<p>肺 CT</p>	<p>320 列 CT は数 mm 大の肺癌を検出できます。胸部単純写真で指摘が困難な不鮮明な陰影でも明瞭に描出できます。単純写真で精密検査を指示された場合、CT 検査をお受けください。肺 CT は 1 回の呼吸停止で肺全体を撮影できますので、撮影に対する負担はほとんどありません。必要最低限の被曝低減撮影を行っています。</p>	<p>脳 MRI</p>	<p>梗塞や萎縮・出血・血管の異常などが診断できます。認知症が社会的に問題となっていますので、ぜひ、ご自分やご家族の健康状態を確認されることで、安心して仕事や家庭生活・社会生活を続けていただければと思います。</p>	<p>簡易ドック</p>	<p>CT・MRI を用いた肺ドックと脳ドックを行っています。</p>	<p>心臓 CT</p>	<p>320 列 CT は 0.35 秒の高速スキャンにより心臓を制止させた画像が撮影できます。短時間の呼吸停止を行っていただくだけで撮影は終了しますので患者さまの負担はほとんどありません。冠動脈狭窄の有無を判定する上で非常に簡便な検査です。循環器内科と協力の上で最適な撮影方法を選択しております。</p>	<p>3 次元画像解析・コンピュータ診断</p>	<p>心臓 CT や血管形状などを立体的に表示できます。アルツハイマー型認知小・COPD・肺癌のコンピュータ支援診断など行っています。</p>	<p>遠隔画像診断</p>	<p>全国の 150 名の専門医と光回線を用いたネットワークでつながっています。必要に応じ複数の専門医の意見を聞いています。</p>	<p>画像診断データの保管</p>	<p>画像診断センターでは本院および医療センターにて撮影した CT・MRI などの画像を電子的に保管していますので画像の比較が必要な場合、過去のデータと比較することができます。</p>	<p>低被曝 CT</p>	<p>2011 年 9 月から低線量による CT 撮影ができるようになりました。胸部 CT でおおよそ 1.2mSv の線量で撮影できます。最新の画像処理技術で可能になった新機能です。</p>
<p>検診要精検に対する二次検査</p>	<p>集団検診や人間ドック等で異常を指摘された場合の精密検査を行っております。指摘された内容に応じて最善の方法を選択させていただきますので遠慮なくご相談ください。</p>																		
<p>肺 CT</p>	<p>320 列 CT は数 mm 大の肺癌を検出できます。胸部単純写真で指摘が困難な不鮮明な陰影でも明瞭に描出できます。単純写真で精密検査を指示された場合、CT 検査をお受けください。肺 CT は 1 回の呼吸停止で肺全体を撮影できますので、撮影に対する負担はほとんどありません。必要最低限の被曝低減撮影を行っています。</p>																		
<p>脳 MRI</p>	<p>梗塞や萎縮・出血・血管の異常などが診断できます。認知症が社会的に問題となっていますので、ぜひ、ご自分やご家族の健康状態を確認されることで、安心して仕事や家庭生活・社会生活を続けていただければと思います。</p>																		
<p>簡易ドック</p>	<p>CT・MRI を用いた肺ドックと脳ドックを行っています。</p>																		
<p>心臓 CT</p>	<p>320 列 CT は 0.35 秒の高速スキャンにより心臓を制止させた画像が撮影できます。短時間の呼吸停止を行っていただくだけで撮影は終了しますので患者さまの負担はほとんどありません。冠動脈狭窄の有無を判定する上で非常に簡便な検査です。循環器内科と協力の上で最適な撮影方法を選択しております。</p>																		
<p>3 次元画像解析・コンピュータ診断</p>	<p>心臓 CT や血管形状などを立体的に表示できます。アルツハイマー型認知小・COPD・肺癌のコンピュータ支援診断など行っています。</p>																		
<p>遠隔画像診断</p>	<p>全国の 150 名の専門医と光回線を用いたネットワークでつながっています。必要に応じ複数の専門医の意見を聞いています。</p>																		
<p>画像診断データの保管</p>	<p>画像診断センターでは本院および医療センターにて撮影した CT・MRI などの画像を電子的に保管していますので画像の比較が必要な場合、過去のデータと比較することができます。</p>																		
<p>低被曝 CT</p>	<p>2011 年 9 月から低線量による CT 撮影ができるようになりました。胸部 CT でおおよそ 1.2mSv の線量で撮影できます。最新の画像処理技術で可能になった新機能です。</p>																		



320列CT



3次元ワークステーションによる冠動脈CT画像作成



PACSレポートシステム



最新鋭多目的X線血管撮影装置